



# 電気は、



# 何から作られているの？



電気は、さまざまなエネルギー資源から作られています。  
今回は、その特徴をご紹介します。

みんなでツリーに  
電気をつけよう！

パーティに集まったエネルギーたち。  
みんなで協力して発電し、  
ツリーに電気をつけていますよ。  
電気を作るために、たくさん  
使われているエネルギー資源ほど、  
からだを大きく表しています。\*



※中部電力管内 2015年4月1日～2016年3月31日の発電・調達電力量実績値に基づく

電気を作る  
エネルギーたちの  
紹介 ※中部電力管内

太陽光

風力

水力



再生可能エネルギーグループ

石炭

天然ガス

石油

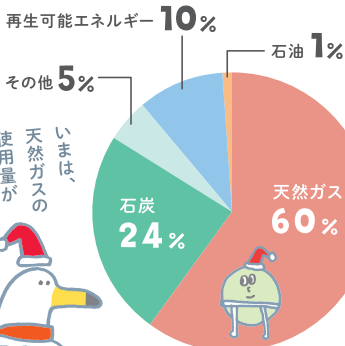
ウラン



火力発電グループ

原子力発電

原子力発電所が  
停止中のため、  
ウランはお休み…



■エネルギー資源の使用割合  
※中部電力管内



私たちが使っている電気は、火力発電なら天然ガス(LNG)や石炭、石油を、再生可能エネルギーによる発電なら水力や太陽光や風力を、原子力発電ならウランをエネルギー資源として作られています。現在、エネルギー資源の中で一番多く使われているのは天然ガス。原子力発電所を停止したことで火力発電の割合が大きくなったためですが、同時に二酸化炭素の排出量が増えています。再生可能エネルギーを増やしたいところですが、天候に左右されるのが課題です。

火力発電に頼るほど  
二酸化炭素が増えてしまう

福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力はくらしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を持つ会社として、皆さまに「エネルギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエナだより」では、なるべくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。



エネルギー資源の  
残量を、  
ろうそくであらわすと



石油  
53年



天然ガス  
55年



石炭  
113年



ウラン  
99年



1兆6,879億バレル



186兆m<sup>3</sup>



8,915億t



590万t

2013年現在

これからの中でも、天然ガスや石炭など化石燃料と呼ばれるものには、限りがあること、ご存じですか!? その残量は意外に少なく、今確認されているものをこのままのペースで使い続ければ、あと50年から100年程でなくなってしまうかもしれません。

限りある資源を大切に使い、子どもや孫に残すためにも、やはり省エネを心がけていすね。

いつかやってくる!?  
エネルギー資源が  
なくなる日

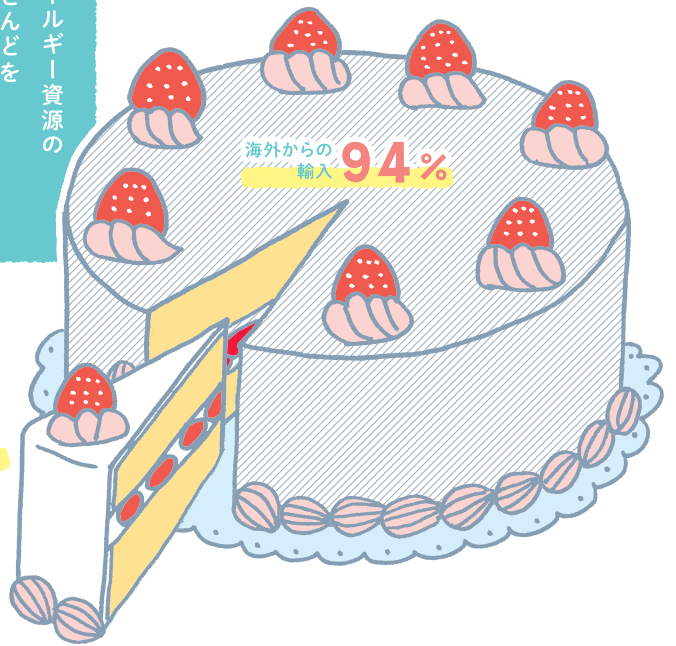


からっぽ...

特に日本は、エネルギー資源の94%を海外からの輸入に頼っています。国内のエネルギー自給率は、わずか6%しかありません。少ないと言われる食料自給率でさえ39%ですから、さらに大きく下回っている状態です。

毎日、電気をお届けするため、当社では、エネルギー資源を安定して調達する努力を続けています。

エネルギー資源のほとんどを輸入に頼っている



日本のエネルギー自給率  
6%

かもじろうの発見!

いまは大丈夫でも  
未来のために、  
電気のことを  
よく考えなくっちゃ。

